

第32回上田三四二記念「小野市短歌フォーラム」一般の部 受賞者一覧

賞名	氏名	歌	県
1席	政井 繁之	きりきりと凍裂の音ひびく夜は飛驒牛の乳房あかく湯気立つ	岐阜県
2席	稲村 悦	本棚に雑誌「世界」が並んでたしかめつつらの父の昭和が	埼玉県
3席	後藤 明美	欲しいものがたったひとつできました君の睫毛の雪の結晶	北海道
4席	吉原 和子	りんごの木まるごと一本買い占めて津軽はひとつふるさとなる	大阪府
5席	深串 方彦	わが顔のマスクの下の無精ひげ誰も気づかず楽しみており	神奈川
入選	米谷 茂	こんなにも妻の眼鏡の度は強き手術の前に預りて知る	兵庫県
入選	小野寺 洋一	コロナ禍で面会できずでも祖母の記憶の中に僕等はいない	岩手県
入選	吉永 明代	〈いい人にもらって欲しい〉車椅子 ゴミ置場にあり仔犬のように	兵庫県
入選	清水 嘉那子	お互いに又もグー出すいつまでもあいこでいたい貴方と私	兵庫県
入選	根本 洋子	パラ選手出前授業で見せる技 健常者の児ら息呑む前で	福島県
入選	川上 眞澄	落葉踏む音を楽しむふりをして言いたきことは言わず帰り来	岡山県
入選	古家 八千代	オルガンの音色のような陽の中でおんぶした娘は明日嫁ぎゆく	広島県
入選	森嶋 郁子	若き日は小走りに追ひし夫の歩と思ひつけふは草生にて待つ	兵庫県
入選	高橋 よしこ	一晩中誰かのお茶を抱きしめてあたたか〜いと灯る自販機	京都府
入選	石田 正子	人通り避けて歩める裏の道門扉のわきにつわぶきの花	京都府
入選	大塚 和子	夕暮れに撓いて実る檸檬の木まるで無援のあなたのように	徳島県
入選	船岡 房公	鹿耳のカチューシャ着けし女校生群れて燥げり飛火野の秋	滋賀県
入選	住本 みゆき	断捨離中かわいい箱から溢れ出るお手伝い券いっぱい愛	兵庫県
入選	和田 真由	暁の霧たちわたる湖畔から地球の熱はほろり冷めゆく	兵庫県
入選	斉藤 隆	わが妻は年の差というアイテムを矛に使えば盾にも使う	青森県
佳作	高田 時子	山月記読みて昂る夕暮れを路地の露店に乾し魚ならぶ	兵庫県
佳作	志久 達成	「ありがとう」と日に幾たびも妻は言うさっきのことすらすぐ忘るるに	長崎県
佳作	我妻 テイ子	デイケアの朝の脳トレぬり絵なりよわ音を吐くなりウマチの指	宮城県
佳作	高田 圭	十字路をはさんでならぶ新築の心療内科とセブンイレブン	静岡県
佳作	坂口 喜紗子	わが額に拳銃のごと向け計る平熱OK医療の現場	和歌山県
佳作	佐々木 弘和	体温が日々違うこと改めて識ることになるコロナ禍の中	滋賀県
佳作	植村 隆雄	ペースメーカー搭載したるサイボーグ ベッドは夜のわが保管場所	福岡県
佳作	住元 八千代	ふるさとを包み一朵の雲をひき小野アルプスは低きを誇る	兵庫県
佳作	松山 真弓	アラビア文字美しかりき短夜に許せることは許してやろうか	大阪府
佳作	清塚 茅香子	花の春夫を見取れず逝かせたりコロナに最後の時を奪われ	埼玉県
佳作	若林 美知恵	背まるめ足の爪切る振りしつつ泣いているのか夫よあなたも	広島県
佳作	池本 日出美	骨だけがのこる皿ありわが夫は秋刀魚食むとき猫の目をする	東京都
佳作	松田 貞枝	残る世共に歩まうと嫁は言いて「作歌のヒント」送りくれたり	兵庫県
佳作	三浦 尚子	初冬という電車に深く陽は差して夫と私の足もと照らす	岡山県
佳作	福田 繁子	コスモスを愛でたる人を懐かしむコロナ渦巻くこの世を知らず	兵庫県
佳作	石垣 長司	子を忘れ我忘れてもいとおしき卒寿の母と冬の日だまり	兵庫県
佳作	土肥 夏綱	トラブルを避けて働く先輩よキリンの角はアンテナじゃない	富山県
佳作	比嘉 道子	CDに残りし君の声聞かばわたくしきつと崩れてしまう	沖縄県
佳作	清水 良郎	エッチングの版画を洗ふ硝酸の茶色の壇の封切れば春	愛知県
佳作	浅野 泰夫	幼稚園門をくぐれば孫達は姿勢正してバイバイをする	徳島県
佳作	中塚 安二	出番なき昔の手道具手に取りぬ修業の汗の錆深き鋸	長野県
佳作	小林 教子	何しても怒る気失せるその顔よ前歯三本ない息子	兵庫県
佳作	宮野 俊洋	長靴をシューズに替ふる生徒らを待ちて車掌は被災駅を発車す	千葉県
佳作	星野 綾香	うすものの裾をかすかに揺らす風憎むほどの愛恋しかりけり	青森県
佳作	近藤 順子	リュック背負い二本杖つくご婦人を追い越せずいる橋の歩道に	山口県
佳作	齋賀 万智	成長を心待ちにしているような男子生徒の緩き制服	兵庫県
佳作	中川 志恵乃	大根を抜きてその穴手を入れれば大地の温み伝わりて来る	兵庫県
佳作	松村 千津子	蟬氷張りし朝は赤蕪の味噌汁つくる酒糟加へ	神奈川県
佳作	森永 理恵	シュレッターの不調のことなど忘れたよ緑雨があんまり気持ち良いから	東京都